

特定非営利活動法人(神奈川県認定)
柔道教育ソリダリティー

会員・サポーターの集い

● 一年を振り返って

● 2015年度

コーチングセミナー修了式

2015年11月30日(月)
アルカディア市ヶ谷(私学会館)

開会のあいさつ

橋本敏明副理事長



明日から師走という大変お忙しい時期に、今回も特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー「会員・サポーターの集い」にご参加いただき誠にありがとうございます。

せっかく本法人の会合にご参加いただいたとしても、私どもは非営利

団体ですので「儲け話」が転がっている訳ではありません。だからこそ余計に皆様には、「参加して良かった」と心が豊かになるような、柔道を通じて世界との繋がりを実感していただける会に出来たらと思っています。

本年度の活動報告をさせていただき、本法人の指導者研修中の9名の方々から、研修報告や感想などをお話しいたします。

さて、前置きが長くなりますがご容赦ください。私は東海大学に勤務しており、最近では全国にある東海大学の付属高校を回って、生徒たちにオリンピックを題材とした教育を行っております。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を踏まえての活動です。

その授業で私は、クーベルタン男爵が提唱した近代オリンピックの精神などについて話し、その際に古い日本の小学6年生の教科書を読み聞かせています。この教科書は作家・志賀直哉が編集したもので、クーベルタン男爵が取り上げられているのです。

1964年に開催された東京オリンピックの招致活動で、プレゼンテーションを行った外交評論

家の平沢和重氏は、この教科書を事例に挙げて各国の委員に日本開催をアピールしました。「日本の子どもたちはオリンピックの精神を知っています。スポーツを通して平和を望んだクーベルタンの理想を学んでいます。そういう国にぜひおいでください」とも簡潔なスピーチでしたが、各国委員の心を強く打ったそうです。

私もその教科書を取り寄せて読んでみましたが、子供たちにも分かりやすい内容で、とても格調高い文章であると感心しました。それを今、高校の授業で使用しております。

そして、平沢氏がそのようなスピーチを行うきっかけとなったのが、柔道の創始者である嘉納治五郎先生なのです。嘉納先生は、第二次世界大戦で中止になった1940年の東京オリンピックに携わっておられました。その招致活動でエジプトからカナダ経由で航路帰国される途中に亡くなられました。平沢氏は嘉納先生と同じ船に乗っており、オリンピックやスポーツの重要性について嘉納先生から直接薫陶を受け、最後を看取られたそうです。

嘉納先生は、「紛争や戦争が起

きている時代だからこそ、世界の人たちに日本に来てもらい、日本を知ってほしい。欧米諸国から日本はファー・イースト(東の果て)と呼ばれているが、日本も世界の一員であるという気持ちを持ってもらいたい」というようなことを話しておられたそうです。平沢氏はそのことを思い起こして、日本のことを知ってもらおうと招致活動に励み、日本の教科書と子供たちのことを世界に伝えたのではないのでしょうか。

この「想い」は、柔道教育ソリダリティーと共通する「想い」だと私は思います。まさに、我々が継承させていただいている「想い」です。我々の活動規模は小さくて、国家レベルとは比較になりませんが、しかし、たとえ小さな規模でも、紛争状態にある国の方々を日本に招くことは出来ます。柔道を通して一緒に生活していく中で、我々は心をつなげて未来を創っていくことが出来るのです。本日も、指導者研修で来日中の方々が、日本での貴重な体験を話してくださいと思います。

柔道を通してより良い社会を作るために、皆様方のご支持とご協力を得てこのような活動を積み

重ねて行きたいと思っております。今宵は懇親会も予定しております。お時間の許す限り皆さまと共に過ごせれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

司会 2015年の活動報告といまして、理事長の山下より報告させていただきます。それでは理事長よりしくお願いいたします。

一年を振り返って

山下泰裕理事長



日頃から柔道教育ソリダリティーをご支援いただき、誠にありがとうございます。我々は皆さまの会費あるいはご寄付で成り立っているNPO法人であり、今年度もこうして活動を報告出来ることを嬉しく思っております。

我々が柔道教育ソリダリティーを立ち上げたのは2006年の4

月で、今年で10年目を迎えました。今では、立ち上げた時よりも多くの方々からご理解とご支援を頂いております。皆さまに支えられたのだと感無量の思いです。その活動の中には、本来ならば我々のような小さなNPO法人が対応する課題ではなく、日本の柔道界が総力を結集して取り組む課題もあったと思います。しかし、そうした課題への活動も、多くの柔道関係者の力を得て、なんとか推進して行くことができました。重ねて御礼を申し上げます。

全日本柔道連盟も2013年8月に宗岡正二会長が新たに就任され、私も副会長として共に全柔連の改革に取り組んで参りました。どうにか14年にはガバナンスやコンプライアンスの改革が進み、15年4月からは全柔連としても改めて国際交流活動にエネルギーを注げるようになったところでは。

そうした中で、全柔連の副会長と本法人の理事長を兼任する私の立場から、利益誘導などあらぬ誤解が生じないように、全柔連の国際交流活動では、柔道教育ソリダリティーが陰になってサポートし

ている部分もあるということをご承知いただければと思います。今後は全柔連でも、柔道だからできる国際貢献、社会貢献がさらに広がって参ります。私はそれぞれの立場から、どちらも合わせて頑張るつもりです。

2015年度活動報告

それでは、2015年の活動をご報告させていただきます。最初はリサイクル柔道衣・畳支援事業です。これは東海大学の学生たちの協力も得て展開している活動です。送付した相手国のリストはお手元の冊子のとおりです。

2015年度送付国	
柔道衣	着数
ブータン	50
カンボジア	50
パラグアイ	100
ジンバブエ	50
畳(全柔連支援)	枚数
ホンジュラス	50
コスタリカ	100
タンザニア	157
キューバ	100

皆様の中には「送付した国の数が少ないのでは？」と思われる方がおられるかもしれません。実は全柔連でも海外ヘリサイクル柔道衣・畳の送付や柔道発展途上国の支援事業を開始しました。そのため、全柔連に移行した国もあって例年に比べると送付国が減って

ります。今後は、全柔連が対応できない相手先に、本法人がリサイクル柔道衣や畳を送るケースも出てくると想定しております。



次にボランティア学生の派遣についてです。スライドの写真は2015年9月にアメリカのジョージタウン大学及び海軍士官学校に大学院生を派遣した時のものです。この事業も4年目になります。初年度は井上康生先生にアメリカへ行っていただきました。当時は同好会だった海軍士官学校の柔道サークルが、今では正式な柔道部として熱心に活動しているそうです。アメリカだけでなく、中国の南京と青島にもボランティアの学生を派遣しています。こちらも活動が昨年よりも減ったように思われるかもしれませんが。

これも今年度から全柔連がボランティア学生の海外派遣を始め

たことが要因です。学生ボランティアです。基本的には夏休みと春休みの派遣ですが、これまでに派遣実績のある中国の南京、青島、それからブータンに派遣しました。こうした海外派遣では、学生にいくら柔道経験があったとしても、事前の準備や研修が重要になってきます。そこで本法人では、光本健次先生が中心になって、全柔連と協力して事前研修にも力を入れております。



これらの写真は2015年3月に中国の南京と青島に濱名智男先生を派遣したときの写真と、同

じく光本先生が南京と青島に行かれた時の写真です。

続いて、海外からの指導者・選手の受け入れについてです。2015年もコストリカやセネガル、中国、ミャンマー、ガーナ、パレスチナから指導者・選手を受け入れました。年度内にさらに指導者を受け入れると思います。現在も9カ国から指導者の方々が1カ月の予定で来日されており、本日の後、彼らから研修の成果を発表してもらおう予定です。

これまで海外から受け入れた指導者や選手の中には、ソ連(当時)のナショナルチームでジュニアコーチになられた方もおられます。その他にも大勢の方が世界中で活躍してくれています。今回来日された指導者の皆さんも母国に帰って、さらに一層活躍してくれるものと期待しております。

中国に広がる柔道の心

次のスライドは日中友好青島柔道館の写真です。青島柔道館からは毎年、そこで稽古に励んでいる子供たちが来日しております。これは2015年7月に宮城県を訪ねたときの写真です。



「青島柔道体操」に取り組んでいる

る写真もございます。こうした青島柔道館の活動が「中華人民共和国において柔道の普及に貢献している」と評価され、2015年8月に日本の岸田文雄外務大臣から外務大臣表彰を受けました。11月には青島柔道館の徐殿平館長が、表彰状を持ってわざわざ東海大学湘南校舎にある私の研究室を訪問してくださいました。香港、台湾、マカオを含む全中国で、この表彰を受けたのは3団体、個人だけだったそうです。そのひとつに青島柔道館が選ばれたことは大変に名誉なことだと感謝しております。

また、中国には南京にも柔道館があり、こちらも青島に負けず、素晴らしい活動を展開しております。いずれもご存知の通り、日本外務省の草の根文化無償資金協力で本法人が立ち上げた施設です。

南京柔道館には、現在、大人から子供まで約500人の会員が所属しております。2015年7月に大学の業務で上海に赴く機会があり、足を伸ばして南京柔道館を訪問しました。非常に素晴らしい活動を展開しておられました。

南京では、この南京柔道館を中心に学校教育に柔道を取り入れる活動が広がってきています。小学

校によっては柔道を必修科目にしているところもあるほどです。ただし指導者は柔道館から派遣しますので、活動が広がれば広がるほど、指導者が不足することになります。目下の課題は、指導者をいかに養成していくかだと話しておられました。

柔道を通じた活動が

平和への礎になるように

次は、日露交流についてお話します。2015年の9月にウラジオストクでJIT（日本たばこ産業株式会社）が講座を開講され、柔道教室と合わせて、講師を務めさせていただきました。そのロシア訪問の機会を生かしてチェチェンにも足を伸ばし、数年前から開催されている、中学生・高校生を対象とした柔道の国際大会の開会式にも参列させていただきました。チェチェンというイメージがあると危険な地域日本にもこの大会への参加要請があるのですが、なかなか選手を派遣できない状況にあります。とはいえ最近治安も安定してきて、先の大会には18カ国の参加があるほどでした。ここでも柔道教室を開きましたが、一日も早い平和

と安定を願っております。

続いてイスラエルとパレスチナの交流についてです。この後、研修成果を報告されるコーチの中にも、イスラエルとパレスチナから派遣されたコーチがそれぞれいらっしやいます。また、5年前にはイスラエルとパレスチナの中学生を2週間ほど日本に招へいたこともあります。こうした事業は費用の額が大きく、我々のような小さなNPO法人では毎年の実施は難しいのですが、2015年度には小学生を対象にしてこの交流事業を再開します。2016年6月にはこの交流の成果をご報告しますのでご期待下さい。

アラブ首長国連邦との交流



それからもうひとつ、アラブ首長国連邦との交流も進んでいます。このスライドは2014年の2月に、アラブ首長国連邦アブダビ首長国のムハンマド・ビン・ザーイド・アール・ナヒヤーン皇太子が来日されたときの写真です。アブダビの国王陛下は3年ほど公の場に姿を見せておられず、皇太子が実質的に公務を担われているようです。

その方が来日された時に柔道の稽古を見学したいとおっしゃり、東海大学の付属高校を訪問されました。その際、「山下さん、2020年の東京オリンピックにはアラブ首長国連邦から選手をぜひ出場させたい。それを応援してほしい」と頼まれました。さらに教育についても話題が広がり、柔道を学校教育に普及させたいとも話されました。このようなお話はさまざまな国から頂戴するのですが、2015年10月にアブダビで柔道世界ジュニア選手権大会が開かれましたので、その機会を生かして訪問してきた次第です。

現地で日本の大使や在留邦人の方々に伺いますと、日本が輸入している石油やガスといったエネルギーのうち、約3割がアラブ首長

国連邦からの輸入であるとのことでした。その契約も毎年のように更新されるので、日本にとって極めて大事な国であるとお話です。



このスライドは、世界ジュニア柔道選手権大会の折にアラブ首長国連邦側と日本大使との食事会の際の様子です。こうした背景から同国との柔道交流が日本の国益にも関わる案件であると受け止め、全柔連とも協力して同国との交流をスタートさせました。お相手は非常に裕福な国ですので、本法人が活動を進めるにあたって費用負担の心配はないと思われま

青少年を対象にした支援

その他には、東日本震災の復興支援として、福島県で開催されている柔道大会にモンゴルから選

手を招へいするという事業も行っていきます。さらに東海大学望星学塾松前柔道塾が主催している国際柔道キャンプやカナダ遠征にも協力しているところです。

そして我々はとても重要な事業として、安全に柔道を指導するための啓蒙、教育活動に力を注いでおります。残念ながら近年、柔道に関連する死亡事故や重大事故が重なり、国民の間で「柔道は怪我が多くて危険である」というイメージが広がってしまったようです。そこで本法人では、本来の安心、安全に身を守る柔道、相手に怪我をさせない柔道の基本を改めて普及するための活動を推進しております。



私が全日本の男子監督を務めていた頃にチームドクターだった宮崎誠司先生に監修をいただき、安全に柔道を指導するためのDVDを作成しました。少年少女を指導している全国の柔道指導者に3500枚ほど無償で配布いたしました。

さらに私が国際柔道連盟で教育コーチング理事を務めていた時に、教材として作ったDVDの版權を譲っていただき、皆さんにお配りしております。



もともとこれは世界中で使用することを前提としたDVD教材で、日本語、英語、フランス語、アラビア語、ロシア語の音声収録されています。これも3500枚作成し、これから少年少女の柔道指導を行っている施設・組織に無料で配布したいと思っている次第です。

東京オリンピック・

パラリンピックを目指し



2020年の東京オリンピック

を見据えた「スポーツ・フォー・トゥモロー」の活動組織に、2015年から我々も認定されました。この活動は、2020年のオリンピック開催国を決めたアルゼンチン・ブエノスアイレスでの投票の際に、安倍晋三総理がスピーチで提案されたものです。日本はこれから2020年までの間に、100カ国以上の国や地域において、1千万人以上のあらゆる人々を対象に、スポーツの価値とオリンピックムーブメントを広げていく活動に取り組みます。この活動には全柔連も全面的に参画して参りますが、我々もこれに協力して成果をあげていきたいと考えております。

さて、最初にお話ししましたとおり、私は全柔連の副会長として日本柔道界の改革にまい進しております。さらには、私の親友であった斉藤仁さんがお亡くなりになり、オリンピックの強化委員長も務めなければならぬ立場になりました。リオデジャネイロオリンピックに向けて、強化本部の副本部長、あるいは2020年東京オリンピック・パラリンピック、さらにはスポーツ全体の振興の任も承りました。そして、東海大学の副学長

です。つまり、以前のように私自身が、理事長として本法人の活動に関わることが困難な状況になって参りました。しかしながら、私に代わって光本さんあるいは小澤さん、宮本さんといったスタッフの方々に、私の分まで大変熱心に活動していただいております。今日までご支援いただいた会員の皆様、ご寄付をいただいた同志の皆様には、このスタッフたちをさらに支えていただきたくお願いを申し上げるとともに、改めてご協力とご理解に深く感謝の意をお伝えしたいと思います。

我々は小さなNPO法人です。出来ることは限られております。一方で、全柔連は改革を重ね、様々な活動を通して社会の信頼を回復し、柔道だからこそできる社会貢献に取り組んでいくと思えます。しかし、やはり全柔連でも出来ない活動もあるでしょう。そうした活動を本法人が、これからも皆様のご支援をいただいで展開していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

介させて頂いた、それぞれからスピーチを頂戴します。楽しみにしていただきたいと思います。彼らは柔道だけでなく、剣道の体験や広島訪問などさまざまな研修を重ねてまいりました。まもなく彼らは母国に帰りますが、今後は、柔道を通して日本との架け橋になってくれることでしょうか。ご静聴、ありがとうございます。

司会 それでは、山下理事長からご案内のとおり、2015年度コーチングセミナーの修了式を始めさせて頂いていただきます。まず、指導を担当した光本健次よりご挨拶を申し上げ、研修生をご紹介します。

研修生紹介

光本健次国際交流担当師範



皆様、今晩は。ただいまご紹介

に預かりました光本健次でございます。微力ながら、NPO法人柔道教育ソリダリティで指導のお手伝いをさせて頂いております。司会の光本は私の家内です。

昨年度に続いて行われたコーチングセミナーですが、山下理事長のお話のとおり海外から8名をお招きしたほかに、実は日本からもコーチを1名参加させました。彼は2年ほどアメリカに語学留学をしていたのですが、2016年4月からはコーチとして海外に派遣したいと考えております。タイムにもなると思い、参加させたという訳です。

今回の研修は2015年11月9日にスタートし、12月4日から6日まで開催された柔道グラウンドスラム東京大会を見学して帰国するという日程でした。研修内容は指導力の向上のみならず、テーピングやスポーツマツサージ、リハビリテーションといった身体管理から精神面のトレーニングまで幅広いものとなっております。東海大学と柔道にご縁のある多くの先生方にご協力をいただきました。

私事ですが、定年も間近の年齢となり、昨春には脚に痛みを覚え

ることが多くなりました。東海大学医学部付属病院で調べてもらったところ、そのまま9月に手術となりました。その節には山下理事長のお手伝いも思うように出来ず、ご迷惑をお掛けしたと本当に申し訳なく思っております。

実は、手術をご担当いただいた先生方の中に、耳の形が崩れた方がおられて、伺ってみると、付属浦安高校で柔道をやっていたということでした。とても優秀なドクターで、かように柔道関係者はさまざまな場所で活躍をされているという実例でございます。

コーチングセミナーのお話に戻します。研修では選手を対象とした指導方法だけでなく、濱名道場や朝飛道場といった町道場、中学校を訪問するなどして、子供たちや初心者、ジュニアの選手など、対象を幅広く想定して指導方法を学んでもらいました。そして日本語や日本文化も体験していただいた1カ月でした。それでは、これから研修生の皆さんに、日本語で自己紹介をしていただきます。

研修生より自己紹介

ボツワナ

モトラモラゴ・キングスレイ・

セゴトロ氏

Montamorago Kingsley Segokoto



今晩は。お元気ですか。ありがとうございます。私の名前はキングスレイです。ボツワナから来ました。よろしく願いいたします。

パレスチナ

ラミ・S・M・カラバニ氏

Rami S.M.Kalabani



今晩は。私はラミです。パレスチナから来ました。よろしくお願いたします。

ミャンマー
ゾウ・リン氏
Zaw Lwin



今晚は。私の名前はゾウ・リンです。ミャンマーから来ました。よろしくお願ひします。

イスラエル
ナヒム・ザドク・ザヒ氏
Nahum Zadok Tzahy



今晚は。私はザヒです。イスラエルから来ました。

中華人民共和国
ワン・レイ (石磊) 氏
Wan Lei



今晚は。私の名前はワン・レイです。中国・北京から来ました。どうぞよろしくお願ひいたします。

日本
原口直也氏



今晚は。先ほどご紹介いただき

ました原口直也と申します。2013年に東海大学を卒業しました。13年8月から語学留学でアメリカのフロリダに行き、少し柔道指導もやらせていただいて15年5月に帰国しました。16年から海外にコーチとして赴任する予定ですので、今回のコーチング研修に参加させていただいております。本日はよろしくお願ひいたします。

フィジー
ネマニ・カブル・タカヤワ氏
Nemani Kavuru Takayawa



今晚は。フィジーから来ましたタカヤワです。よろしくお願ひします。

コスタリカ
アンドレス・サンチョ・バランテス氏
Andres Sancho Barrantes



今晚は。私はサンチョです。コスタリカから来ました。

アラブ首長国連邦 (シリア)
モウ・サレ・アルモウ氏
Mouh Salen Almouh



今晚は。私の名前はモウ・アルモウです。アラブ首長国連邦 (UAE) から来ました。私は保健体育の先生で、保健体育の博士です。どうぞよろしくお願ひします。

光本師範 キングスレイさんの出

身国であるボツワナですが、東海大学卒業生の井坪圭佑君が青年海外協力隊員として派遣され、柔道の指導などで活躍しておりました。しかしながら誠に残念なことに、井坪君は2014年に不慮の事故によりアフリカの地で亡くなられました。キングスレイさんは井坪君の教え子にあたります。

フィジーから来たタカヤワさんは、実はお父さんも若い頃に東海大学に柔道留学をされていました。今はもうお亡くなりになったのですが、息子の彼を高校から大学まで日本に留学させてくれました。日本語に不自由のないタカヤワさんです。

先ほど山下先生からご報告があったアラブ首長国連邦 (UAE) ですが、石油資源の将来性を考えて、今は教育に注力されております。その中で、東海大学とも活発に国際交流をされるようになりました。私も山下先生の指示でUAEの7つの首長国のうち5つを視察して参りました。ムハンマド皇太子がおっしゃる様に学校教育に柔道を取り入れるにしても指導者が足りません。これはもうコーチングセミナーをやるしかないと考え、原口君と一緒に出かけ、

約2週間のコーチングセミナーを開催してまいりました。そのような経緯で、原口君をUAEの学校教育機関に派遣できればと考えております。そして、ますます日本や東海大学とUAEの絆を強くしたい。そういう気持ちでございます。

それでは、研修生による報告に移らせていただきます。ありがとうございました。

司会 それでは、この約1カ月のコーチング研修につきまして、研修生の方々からご報告をいただきます。今回は3つのグループに分かれて、柔道指導の講習内容や、柔道以外の分野について大学で学んだこと、日本の文化や伝統に触れたことなどをお話いただく予定です。それでは、よろしくお願いたします。

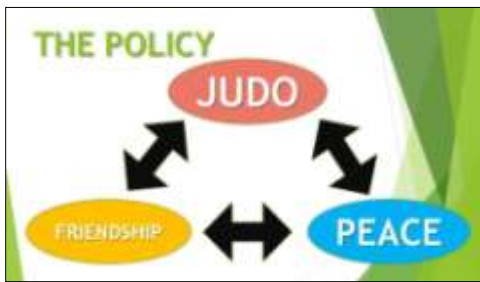
研修生の研修報告

第1グループ

原口直也氏・バランテス氏・ザヒ氏

本日は柔道教育ソリダリティーの交流会ならびに修了式にお越しいただき、誠にありがとうございます。今回、私たちは約1カ月

間、柔道教育ソリダリティー主催のコーチングセミナーに参加させていただきました。柔道教育ソリダリティー及び東海大学、私たちが訪問させていただいた町道場や中学校など、たくさんの方々のご援助の下、大変貴重な時間を過ごさせていただきました。この場を借りて感謝を申し上げます。



11月9日にコーチングセミナーが始まりました。私たちはとても緊張していました。私たちはこのセミナーで、柔道を通じて平和について学ぶことになりました。



11月12日には、柔道教育ソリダリティーによるウェルカムパーティが開かれました。美味しい食事や学生たちによる歌のプレゼントで緊張がほぐれました。

私たちはこの1カ月間で柔道を通してたくさんのお話を学びました。光本健次先生の教えには本当に感謝しています。竹内真先生からは素早く切れるのある足技を学ぶことができました。濱名智男先生からは投げの形についての確かな指導を受けました。形の世界チャンピオンである濱名先生による型のクラスは大変貴重な体験と

なりました。

このスライド写真は毎週土曜日に行われていた「柔道特別実習」という授業に参加したときのものです。山下先生の柔道クラスに参加することができました。毎週このようなクラスに参加できる学生がうらやましいです。



次のスライドは、11月9日に講道館で行われた蒲原光一さんによる国際審判講習の写真です。ビデオを見ながらの説明会はとてもわかりやすかったです。私たちは主に、光本先生による柔道クラスを東海大学の柔道場で行いました。柔道の基本から応用までを学びました。光本先生のクラスはとても楽しかったです。山下泰裕先生、事務局の光本恵子さん、そして光本健次先生に感謝しています。

司会 皆さんありがとうございます。それでは第2グループの報告です。ボツワナからいらっしやったキングスレイさん、ミャンマーからいらっしやったゾウ・リンさん、フィジーからいらした、愛称「ツネちゃん」ことタカヤワさん人です。よろしくお願ひします。

**第2グループ
セゴトロ氏・リン氏・タカヤワ氏**

ありがとうございます。私たちはこの1カ月の間に様々な授業を受けてきました。そのことについてプレゼンテーションしたいと思っています。

私たちのために開かれた様々

で特別な授業は、ただ楽しいだけでなく、とても勉強になりました。私たちは一人一人、違う国から集まってきましたが、お互いに何の問題もなく、楽しく同じ時を過ごしました。



それではスポーツテーピングの授業について話したいと思います。テーピングの授業は、選手のためにとても大切なことです。

特に足首と膝のテーピングをよく学びました。正確なポイントに正確な圧力をかけて固定し、怪我が悪くならないためのスキルを勉強することができました。ありがとうございます。



皆さん今晩は、私はマッサージのクラスについて話したいと思います。私たちは、筋肉を大切に使うことの大切さを学びました。

また、きちんとしたアスリートは自分の身体のケアを欠かさず、トレーニングの後は必ずマッサージをしているということが分かりました。どうもありがとうございます。

私は、リハビリテーションの授業について話したいと思います。このクラスで勉強したほとんどのエクササイズは、ゲームのように

とても分かりやすく、楽しいものでした。子供たちにもできますし、それぞれの国に持ち帰っても、私たちの生徒が練習の時間に楽しむと思います。



このスライド写真は、そのエクササイズをやっているところです。



次は剣道の授業について話したいと思います。剣道は柔道と同じように日本の伝統的なスポーツ

です。私たちはこのスポーツを通して、日本の伝統的な着物の着方や動き方を学ぶことができ、とても幸運に思いました。剣道衣と防具の着付けには30分もかかってとても大変でしたが、良い経験となりました。



最後に、居合道のクラスについて話したいと思います。居合道も柔道と剣道のように武道に入っています。剣道と違って乱取りがなく、型だけを練習するのです。自分たちは居合道で大根を切りました。

日本に来て、私たちは光本健次先生をはじめ橋本敏明先生、事務局の光本恵子さん、小澤浩子さん、木下陽子さんたちにとってもお世話になりました。本当にありがとうございました。この人たちだけで

なく、日本で出会った全部の人に感謝をしたいと思えます。ありがとうございました。

司会 ありがとうございます。それでは最後のグループです。パレスチナからラミさん、中国のワン・レイさん、それからUAEから来られましたモウさん、この3人の方からは、日本の伝統と文化を体験した旅についてお話が伺えると思います。

**第3グループ
カラバニ氏・ワン氏・モウ氏**



今晚は。講道館の博物館では嘉納治五郎先生の人生と柔道の歴史を学びました。永昌寺は柔道が生まれた場所です。柔道の長い歴史の第一歩となった場所です。あり

がありがとうございました。



朝飛道場では、チャンピオン育成に最適な稽古が行われていて、驚きました。特に柔道衣の工夫は印象的でした。演名道場では、障がいがある子どもたちもみんな同じ稽古をしていました。素晴らしい感じました。



貫井中学校では2020年の東

京オリンピックで活躍し、未来の日本を支える子どもたちの教育がなされていました。



横須賀学院では「痛みなくして前進なし、前進なくして栄光なし」というスローガンが印象的でした。



京都では4つの神社に行きました。金閣寺はとても美しかったです。

広島では原爆ドームを見ました。日本の悲しい歴史を学びました。ありがとうございます。

Thank you very much for everyone



感謝する方を並べたら1冊の本では足りないくらいたくさんの方からのご支援、それからご理解をいただきました。日本に來られて全てのこと、感謝しております。日本では、礼節を重んじる心、そして文化を重んじる心を、行く先々で学びました。本当にありがとうございます。

司会 それでは、時間もありませんので、修了式を始めたいと思います。修了証書は山下理事長から授与いたします。それでは、ステージにお上がりください。

修了証書授与

山下理事長 それでは読み上げます。修了証書「第25号」です。「モトラモラゴ・キングスレイ・セゴコトロ氏は、本法人が実施した講習を2015年11月9日から2015年12月6日の期間、履修し、柔道の精神をよく理解し、修業に励み、心・技・体の充実に努力されて大きな成果を挙げられました。よってここに所定の修了過程を修了したことを証します」



証書の日付と今日の日付は違いますが、研修生はこのあとグラインドスラム東京大会を見学してから帰国しますので、証書の日付は2015年12月6日です。それは認定いたします。「特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー理事長、山下泰裕」。

《全員に修了証書を授与》

司会 山下理事長ありがとうございます。それでは引き続き交流会に入ります。限られたお時間ではございますが、皆様と交流を深めていただければと存じます。

柔道教育ソリダリティーのバックナンバー講演録をご要望の方は、事務局0463(58)1211(内線3524)までご連絡下さい。講演録は、無料で配布しております。また、ホームページからもダウンロードすることが出来ます。

【<http://npo-jks.jp>】

* * *